

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月5日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---|-------|------------|
| 事業所番号 | 0170200885 | | |
| 法人名 | 有限会社 エイチ・ティ・エス | | |
| 事業所名 | グループホーム ハーモニー | | |
| 所在地 | 北海道札幌市北区北33条西6丁目2-40 (電話) 011-738-9406 | | |
| 評価機関名 | タンジェント株式会社 | | |
| 所在地 | 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年11月5日 | 評価確定日 | 平成19年11月8日 |

【情報提供票より】(平成19年9月12日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|----------------|--------|------------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成)14年4月15日 | | |
| ユニット数 | 2ユニット | 利用定員数計 | 12人 |
| 職員数 | 14人 | 常勤 | 12人, 非常勤 4人, 常勤換算 8.6人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|-------|--------|
| 建物構造 | 軽量鉄骨 | 造り |
| | 3階建ての | 1~3階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|-----------------|----------------|------------|----------------|------|
| 家賃(平均月額) | 33,000~40,000円 | その他の経費(月額) | 13,000~17,500円 | |
| 敷金 | 有(円) 無 | | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) 無 | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 400円 | 昼食 | 400円 |
| | 夕食 | 400円 | おやつ | 100円 |
| | または1日当たり | | 1,300円 | |

(4) 利用者の概要(9月12日現在)

| | | | | | |
|-------|----------|------|------|----|-----|
| 利用者人数 | 12名 | 男性 | 2名 | 女性 | 10名 |
| 要介護1 | 4名 | 要介護2 | 2名 | | |
| 要介護3 | 2名 | 要介護4 | 4名 | | |
| 要介護5 | | | 要支援2 | | |
| 年齢 | 平均 84.3歳 | 最低 | 66歳 | 最高 | 93歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-----------|
| 協力医療機関名 | 能登内科小児科医院 |
|---------|-----------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者がリビングに集いテレビを見たり、談笑したり思い思いに過ごしアットホームな雰囲気が感じられるグループホームである。また、管理者及び職員は身体機能の維持向上や心身のリフレッシュ、気分転換のために動物園見学や温泉入浴、紅葉狩り・花見等のドライブなど積極的に外出の機会を多く作る工夫がされている。2ヶ月に一度外部から講師を招聘したり、協力医療機関の医師による研修会、消防署から講師を招き防火について講習会を開催するなど職員のスキルアップに取り組みケアサービスの質の向上に努めている。ホームの前庭では、バーベキューで食事を提供したり、日光浴を楽しんだり利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意されている。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、ヒヤリ・ハットの取り組みについて課題が挙げられていましたが、データが集積され、毎月データに基づいて対策がされリスク管理に活かされています。また、研修会も開催されリスクコントロールが機能するシステムができています。 |
| | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については改善の機会として取り込まれ運営推進会議にも報告され委員の意見交換に活用されています。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在4回実施されています。議題については消防署講師による防火指導及び講習設備・避難方法について消防法改正について地域との連携について次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて |
| | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「ハーモニー新聞」を毎月発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介、運営推進会議の報告など家族に情報提供して、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、利用者一人ひとりの状態変化については、都度個々の家族に合わせた報告をしています。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 近隣への散歩やスーパーやコンビニでの買い物、「ハーモニー新聞」の発行や町内会役員が参加する運営推進会議の開催、地域の行事参加や日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域の中で利用者がその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、事業所独自の理念を作り上げ職員間で共有されている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者、職員は理念の重要性をカンファレンスや会議を通じて話し合っている。また、理念の実践の為にミーティングなどを通じて日々取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 近隣への散歩やスーパーやコンビニでの買い物、「ハーモニー新聞」の発行や町内会役員が参加する運営推進会議の開催、地域の行事参加や日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。 | | 今後は、運営推進会議やホーム主催の講習会参加も呼びかけて、さらに地元の人々との交流が促進されるように計画されています。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、日々の業務の中で改善する取り組みがされている。また、自己評価や前回の外部評価結果についても、運営推進会議で報告され評価を活かした具体的な改善に取り組んでいる。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|---------------------|---|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議については評価日現在4回開催されている。メンバーは利用者、家族、町内会役員、包括支援センター、管理者・職員で構成され消防署より講師を招いて具体的に取り組んでいる。</p> | | <p>今後は、さらにホーム主催の交通安全や認知症の講習会の開催など具体的事例に基づいて、地域の人々や行政・包括支援センターにも意見を求めサービスの向上に活かしていく取り組みが計画されている。</p> |
| 6 | 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>管理者は、市との連携の重要性について充分承知しており、日々取り組んでいる。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>「ハーモニー新聞」を毎月発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など家族に情報提供して、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、状態変化については、都度個々の家族に合わせた報告をしています。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組み苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。また、自己評価・外部評価の結果は、運営推進会議で報告され家族の意見を聞く場を設けています。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>共用空間で全ての職員の写真を掲示するなど家族にきめ細かな情報提供をしている。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p> | | |


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|---------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | 2ヶ月に一度外部から講師を招聘したり、協力医療機関の医師による研修会、消防署から講師を招き防火について講習会を開催するなど職員のスキルアップに取り組みケアサービスの質の向上に努めている。また、研修参加者の報告会でフォローアップされ職員を育てる取り組みがされている。 | | |
| 11 | 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | 地域の同業者と協議会や研修会を通じて交流が行われている。また、職員の勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みを検討している。 | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | 本人が安心して納得したサービスが受けられるように入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | 職員も利用者と一緒に食事の準備をしたり、センター方式を利用して利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握し、職員間で共有して本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。 | | |

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|----------|---|---|-------------------------|----------------------------------|
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | 利用者一人ひとりの思いを職員間で共有して、散歩や買い物、紅葉狩りや公園までのドライブなど積極的に外出の機会を多く作ったり雑巾縫いや歌唱、習字、読書などの趣味への支援や食事の準備、後片付けなど本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | 介護計画は、センター方式をもとに作成されており、利用者・家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的になっている。 | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | 介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、2~3ヶ月に一度計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | 本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物などその時々に応じて柔軟に支援を行っている。また、皮膚科、内科、歯科の往診などその時々々の要望にも対応されている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|--|---------------------|-----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望や状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ターミナルケアについては、医師と連携して利用者・家族とも繰り返し相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけなど取り組まれています。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 個々の利用者の自己決定を大事にして、散歩やスーパー、コンビニでの買い物で金銭を使う場面を見出したり、食事の準備や後片付け、雑巾縫いや習字など本人の希望やペースに沿って支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|---------------------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備をしている。また、後片付けをしたり食後のお茶を楽しんだり、和やかな雰囲気を出している。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴日は基本的に決めずに利用者の希望に応じて対応している。また、週2回を目安に入浴が楽しめるように支援されている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | センター方式で一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、習字や雑巾縫い、歌唱、食事の準備や後片付け、寿司などの出張サービスの出前、散歩や買い物、気分転換のための紅葉狩りなどのドライブなど外出の機会も多くつくられている。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 散歩、スーパーやコンビニでの買い物、紅葉狩りや動物園見物、温泉入浴、公園までのドライブなど積極的に外出ができるように支援されている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関は、センサーの設置などで鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、職員がさりげなくついていき安全面で配慮されています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|---|--|---------------------|--|
| 27 | 71 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p>緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が実施されています。</p> | | <p>今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。</p> |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、医師や栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。</p> | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>利用者がリビングに集いテレビを見たり、談笑したり思い思いに過ごしアットホームな雰囲気を感じられるグループホームである。気になる臭いや音の大きさは感じられない。また、食堂やリビングからは外観が眺められ季節感が感じられる。</p> | | |
| 30 | 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>居室には、仏壇や冷蔵庫、使い慣れた家具やソファなどが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、廊下には行事参加の写真や趣味の手作りの紙細工の作品が飾られ利用者一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p> | | |

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。